

空見地区における大規模展示場整備に関する調査について

予定額：20,000千円

趣旨：平成28年5月13日の所管事務調査で報告させていただいた金城ふ頭との一体運用を前提とした空見地区における大規模展示場整備について、施設規模や内容、交通計画、需要予測など整備構想策定に向けてフィージビリティ調査を中心に調査検討を行うもの。この調査を受けて、今後整備に向けて実施の可否を判断する。

内 容：

(1) 条件整理

敷地条件の把握、法的条件の整理など

(2) 施設概要

施設配置、来場者・搬出入車両等の動線検討

(3) アクセス計画

交通処理、駐車場、鉄道アクセスなどについて調査

(4) 大規模展示場の需要予測調査

(5) その他課題整理

空見地区における大規模展示場整備にかかる知事の指摘事項と
本市の考え方について

- 指摘1 候補地の土壌に対して懸念がある
考え方 東邦ガスは自主的に調査を実施し、本市と協議のうえ汚染範囲と対策方法をまとめた「汚染拡散防止計画書」を本市に提出したことを公表しており、その後、対策の完了届を本市に提出している
- 指摘2 残存建築物の問題
考え方 無線アンテナ塔など一部施設は、残したままでも整備が可能
高圧導管はじめその他建造物は、設計期間中に移設及び撤去が可能
- 指摘3 県市が一致しなければ東邦ガスは土地を貸さない
考え方 県市が相談の上で、この地域の発展に寄与するものであれば協力すると伺っている
- 指摘4 10万㎡の土地に5万㎡は狭すぎて駐車場も作れない
考え方 詳細は今後の調査で検討することになるが、これまでの聞き取り調査の範囲では整備できるものと考えている
- 指摘5 交通アクセスが悪い
考え方 新駅整備の可能性も含め、今後の調査で検討していきたい
- 指摘6 物流トラックが行き来し、展示場の整備地にふさわしくない
考え方 円滑な交通計画のあり方については、今後の調査で検討していきたい
- 指摘7 県は分区変更について手続きしない
考え方 分区指定の見直しの権限は、名古屋港管理組合にあり、県市双方が関与しているため、合理的な判断を促す資料のもと県との協議が必要になる
- 指摘8 開発に時間とコストがかかり事業性がない
考え方 開発にかかる工期と事業費については、今後の調査で検討していきたい

